

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	芸術文化の振興			総合計画コード	342
部名	生涯学習部	主管課名	生涯学習・スポーツ課	主管課部課コード	120100
関連部課名	—				

1. 施策概要

めざす目的成果	市民が芸術文化活動の成果を発表できる場と機会を得るとともに、より身近で優れた芸術文化に親しめる機会が提供されている。 各種団体やグループをネットワーク化し、市民の自主的な活動の充実と活性化をはかり、芸術文化に感心を持つ市民の活動が促進されている。				
施策概要	朝霞市文化祭等文化事業の開催、朝霞市文化協会の活動の支援。				
個別計画 関連計画	計画名称	朝霞市教育振興基本計画	計画期間	H 25 年度	~ H 34 年度
		第2次朝霞市生涯学習計画後期基本計画		H 24 年度	~ H 28 年度
				H 年度	~ H 年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・春の芸術文化展(3,585人)、夏の芸能まつり(1,975人)、秋の文化祭(13,071人)等の文化事業を文化協会と共催して実施した。 ・文化協会に補助金(文化協会補助金、文化祭補助金、市民芸能祭り補助金、芸術文化展補助金)を交付し、市民の芸術文化の振興に努めた。 ・芸術・文化の推進と伝承のために、朝霞市文化協会等市民や市民団体と協力しながら、講座やイベントを開催した。 ・市内丸沼芸術の森の協力を得て、夏休み親子陶芸教室(74人)を実施した。 ()内の数値は、事業の述べ参加者数。					
H28年度の 基本概念(コンセプト) の実施内容	安全・安心なまち	事業実施の際に関連課と連携し、防災関係グッズを配付し、防災意識の啓発に努めた。				
	子育てがしやすいまち	子どもを対象にした芸術文化体験事業や親子の絆を深める目的で親子陶芸教室を実施した。				
	つながりのある元気なまち	市民との協同開催である文化事業(芸術文化展、市民芸能祭り、秋の文化祭)を実施し、市民のコミュニティーの活性化に努めた。				
	自然・環境に恵まれたまち	市民芸能まつりに根岸野謡を招くなど、朝霞の伝統が後世に伝わるよう配慮した。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		8,273	—	—	—	—

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標 H32年度
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
① 芸術文化展、芸能まつり、文化祭の入場者数	人	24,000	25,000	25,500	26,000	26,500
		18,631	—	—	—	—
② (説明)						
			—	—	—	—

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) ● <input checked="" type="radio"/> D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) <input type="radio"/> E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)
(説明)	<p>・文化協会との共催事業については、いずれのイベント実施日も他のイベント等と日が重なったことから思ったように集客ができなかった。しかしながら、実施内容については、文化協会各団体も創意工夫を凝らし、充実したものとなっている。</p> <p>・次世代を担う子どもが芸術文化に触れる機会を提供するため、親子陶芸教室や、文化協会や青少年相談員の協力で文化祭での体験教室を実施した。参加した子どもたちは、それぞれに発見や達成感をもった様子で、芸術文化を知り、理解するきっかけとなった。各種多様な芸術文化を学び、携わる市民の発表の場を提供することで、学習の成果の確認と参加者、来場者の交流や異世代間の絆を深めることができた。</p>
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある ● <input checked="" type="radio"/> D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある <input type="radio"/> E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input checked="" type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない
(説明)	<p>伝統文化の伝承や芸術文化の振興は、暮らしや心の豊かさ、地域コミュニティの振興の面でも大切であり、個人や地域だけで行うことには限界がある。また、市と市民団体が協働で文化の振興にあたり、広く市民が参加し、文化に触れる事は、文化教育の格差をなくす側面も有するほか、異世代間の交流機会ともなり、コミュニティの活性化にもつながる。さらに、発表と文化交流の場を設けることで、市民の芸術文化に対する意識や創作意欲の高揚が計られる。</p>
施策を進める上での問題点・課題	<p>(説明)</p> <p>・事業への参加人数が伸び悩んでいることから、今後どのように事業展開をするのかを文化協会と意見交換を行い、検討することが必要である。その際には、関係課とも協議し、イベント実施日をずらす等の工夫が必要である。</p> <p>・文化協会構成員の高齢化や後継者不足が顕著なことから、新たな会員確保の方策を文化協会と検討していく必要がある。</p>

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し					
(説明)	<p>青少年や子どもが参加できる事業を引き続き実施し、伝統文化の継承に努めるとともに、幅広い世代が交流し、芸術文化を身近に感じ親しみ、学ぶ機会の提供に努め、芸術文化の振興を図る。また、来場者数の向上のため、開催日の工夫やより積極的なPRに努めていきたい。</p>					
行政と市民の役割分担	<input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 ● <input checked="" type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大					
(説明)	<p>芸術文化事業は、文化協会との協働で、運営については文化協会に負うところが多いので、引き続き文化協会と連携を密にして朝霞市の文化芸術の振興に努めていくことが必要である。次年度も担当者が積極的に文化協会の理事会や役員会に出席し、文化協会とのコミュニケーションを取っていく。</p>					
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
	1 芸術文化振興事業	7,907	8,273	3	3	現状のまま
	2					
	3					
	4					
	5					
	計 (単位:千円)	7,907	8,273	—	—	—
	<input type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載					
審議会等の第三者機関の評価(意見)	<p>【外部評価委員会】</p> <p>・市が行う芸術文化の事業については、市民が何を望んでいるのかを分析し、特定の団体に頼るだけでなく、市民個人の活動も支援するようにしてほしい。(自然・環境に恵まれたまちに関する所見より抜粋)</p>					
部長の意見	<p>文化祭や芸能まつりなどを通して、市民の文化・芸術活動の推進が図られていることは評価できる。また、毎年、創意工夫しながらの充実した内容となっている。今後も、文化・芸術分野において、次世代への継承が進むよう、関係団体との連携を図り、なお一層、活発的な活動が進められるよう努力していくこと。</p>					